

心のスイッチ

園長 篠澤 恵理

2月の「こども会」に劇遊びを披露する前日のことです。年少こりす組の子どもたちに、「楽しいこども会になるように、心のスイッチを入れましょう。」と伝えると、お腹を何度も押して「たくさんスイッチ入れた。」と言い、張り切って表現していました。年長もり組の子どもたちは、こども会の数日前に、自分たちの劇を撮影したビデオを見ました。演じている自分の姿を見て、「もっと声を大きくしたほうがいい。」と気づき、新たな目標を立てていました。心を奮い立たせるスイッチを「自分で入れた。」と実感することは、やる気や根気が出るきっかけになっていました。

また、ある日のこと、転んで泣いていた子の治療を終えると、その子は、「涙のスイッチを切る。」と言って泣くのを止めました。以前、誕生会の時に、私が「大きくなるということは、自分で涙のスイッチを切ることができる。」と話したことを思い出したとのことでした。心を切り替えるスイッチを「自分で入れた。」と実感することは、たくましさやしなやかさが育つ機会になっていました。

幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」には、「自立心」について、「身近な環境に関わり、様々な活動を楽しむ中でしなくてはならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる」と書かれています。「自分の力で」という主体性と、「しなくてはならないことを自覚し」という、先を見通す力を引き出していくことが、幼児期に必要なことだと思います。子どもは、時にやりたくないと思う気持ちや感情が高ぶっているときでも、「これをやるためには、これもやったほうがいいな。」と納得できると、気持ちを整えて取り組めるようになっていきます。自立心を育むためには、子どもが自分から心のスイッチを入れて自分の感情をコントロールできるように支えていくことが大切です。心のスイッチは、ONとOFFだけでなく、車のウインカーのように、道を曲がって違う景色になった時に、新たなことに気付くような「ものの見方を変える」スイッチも備えていると考えます。大人のほうも、子どもに言い聞かせたり、怒って伝えたりする場面で、スイッチを切り替えて子どもが分かる伝え方を考え直してみることに応用できそうです。新学期に向けての期待とともに、新たな環境になる不安を感じる時期です。心のアクセル全開のままでは、疲れてしまうこともあるでしょう。心のスイッチは、時にオフにして、ゆったりとくつろげる状況をつくることも大切です。心の整え方を子どもと一緒に意識していくとよいですね。

最後になりましたが、今年度も、保護者の皆様や地域の皆様には、ふくろ幼稚園の教育活動に温かなご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。コロナ禍にあっても、たくましく楽しさを追求しながらの一年が終わろうとしています。もうしばらく制約のある日々を過ごすこととなりますが、知恵と工夫で豊かな毎日になるように努めてまいります。今後とも、子どもたちの成長のためにお力添えをいただきますようお願いいたします。

《今月の目当て》

- 4 歳 児 ・もり組から当番の仕事を引き継いだり、お別れ会の準備をしたりしながら、
こりす組 年長組になることに期待をもつ。
・自分の思いや考えたことを伝えたり、友達の思いを受け止めたりして遊ぶ。
- 5 歳 児 ・幼稚園を修了することを意識し、就学への期待をもって行動する。
- も り 組 ・学級のみなどと一緒に活動する中で、互いの成長やつながりを感じながら、
遊びや生活を十分に楽しむ。

今月の歌

☆ はるがきたんだ ☆



- | | |
|--|---|
| <p>1 はるのかげが ふいてきたら
めだかも ちょうちょも ことりたちも
うれしそうに わらうだろ
はるだよ ぼくらの はるがきたよ
きたかぜなんか あっちのほうへいつちゃえ
すてきなはるが ほんとにきたんだ
わーい わい</p> | <p>2 はるのかげが ふいてきたら
きゃべつも もぐらも しろいくもも
たのしそうに うたうだろ
はるだよ ぼくらの はるがきたよ
なかまじゃないか ぼくたちみんな
まっけたはるが ほんとにきたんだ
わーい わい</p> |
|--|---|